



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月15日

上場会社名 S Dエンターテイメント株式会社 上場取引所 東  
コード番号 4650 URL <https://sdentertainment.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 誠  
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 岡野 靖彦 TEL 011-860-2525  
定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 —  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日  
決算補足説明資料作成の有無：有  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	3,735	△1.0	122	84.8	82	549.5	117	—
2023年3月期	3,774	△5.3	66	—	12	—	△197	—

(注) 包括利益 2024年3月期 118百万円 (—%) 2023年3月期 △195百万円 (—%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	13.17	—	8.2	1.9	3.3
2023年3月期	△22.08	—	△13.4	0.3	1.8

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	4,240	1,493	35.2	166.76
2023年3月期	4,424	1,374	31.1	153.53

(参考) 自己資本 2024年3月期 1,493百万円 2023年3月期 1,374百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	27	52	△218	858
2023年3月期	△105	265	△626	996

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,800	1.7	130	5.7	80	△3.2	10	△91.5	1.12

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正無再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	8,997,000株	2023年3月期	8,997,000株
2024年3月期	42,988株	2023年3月期	42,988株
2024年3月期	8,954,012株	2023年3月期	8,954,012株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、[添付資料]4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、経済活動の正常化が進んでいる一方で不安定な国際情勢や円安などの影響を受け先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、構造改革の第2フェーズとして、主力であるウェルネス事業の成長戦略等に取り組み、フィットネス事業においては新たなサービスの提供としてライフスタイルに合わせて選択できるプランの提供と女性専用マシンピラティススタジオのオープン等に注力しました。保育事業では園内サービスを充実させ園児充足率を高水準で維持し、介護事業では新たに就労支援B型事業所を立ち上げ、訪問介護・グループホームの強化も図りました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は37億35百万円（前連結会計年度比1.0%減）、売上総利益は34億97百万円（前連結会計年度比0.1%減）、営業利益は1億22百万円（前連結会計年比84.8%増）、経常利益は82百万円（前連結会計年度比549.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1億17百万円（前連結会計年度は当期純損失1億97百万円）となりました。

当連結会計年度における売上高をセグメント別に示すと次のとおりであります。

<事業部門売上高>

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	前連結会計年度比 (%)
ウェルネス事業 (千円)	3,299,786	101.8
(フィットネス)	872,112	97.5
(保育・介護等)	2,427,674	103.4
クリエイション事業 (千円)	75,063	52.5
不動産賃貸事業 (千円)	175,137	102.2
その他 (千円)	185,048	85.3
合計 (千円)	3,735,036	99.0

- (注) 1. ウェルネス事業は、フィットネス部門、保育部門、介護部門の売上高であります。  
 2. クリエーション事業は、オンラインクレーンゲーム部門の売上高であります。  
 3. 不動産賃貸事業は、不動産賃貸部門の売上高であります。  
 4. その他は、コールセンター部門、カウネット代理店部門等の売上高であります。

#### (ウェルネス事業)

フィットネスは、健康志向の高まりや運動の多様性に合わせ、新プラン「えらべる週3会員」の提供や女性専用マシンピラティススタジオ「スターピラティス」をSDフィットネス24札幌白石店（北海道）、リバーウォーク北九州（福岡県）にオープンし売上改善に注力いたしましたが、2023年7月に秋田県を襲った記録的大雨による浸水災害により店舗を閉店した影響等により、売上高は前連結会計年度比97.5%となりました。

保育・介護等は、保育では「カメラキッズ×RIZAP×湘南ベルマーレ」で共同開発したサーキットプログラムを提供やSNSを利用したイベントや入園状況・保育士採用案内等の情報提供を充実させたことで園児充足率を高水準で推移出来、介護等では2023年12月にオープンした就労支援B型事業所「リバイブ相模原」が順調に稼働率を上げており、訪問介護・グループホームも高稼働で推移したことにより、売上高は前連結会計年度比103.4%となりました。

以上の結果、ウェルネス事業の売上高は32億99百万円（前連結会計年度比101.8%）となりました。

#### (クリエイション事業)

オンラインクレーンゲームは、消費者の時間の使い方が変化し、またゲームセンター等の回復の影響もあり、利用ユーザーが減少している中、コラボ景品の投入やキャンペーン・限定イベント等を行い収益改善に取り組みましたが売上高は75百万円（前連結会計年度比52.5%）となりました。

#### (不動産賃貸事業)

不動産賃貸は、新規テナント誘致や入居テナントへのファシリティ業務により収入が増加し、売上高は1億75百万円（前連結会計年度比102.2%）となりました。

## (その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に当社子会社が運営するコールセンター事業やカウネット代理店事業、通販サイト「NorthernLAB0」などのEC事業等となり、売上高は1億85百万円（前連結会計年度比85.3%）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における流動資産は、14億34百万円となり前連結会計年度末に比べ1億24百万円増加しました。これは主に、売掛金が59百万円、商品が69百万円増加し、現金及び預金が1億38百万円減少したことによるものであります。固定資産は、28億4百万円となり前連結会計年度末に比べ3億7百万円減少しました。これは主に、有形固定資産が1億25百万円、無形固定資産が7百万円、差入保証金が1億55百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、42億40百万円となり前連結会計年度末に比べ1億84百万円減少しました。

## (負債)

当連結会計年度末における流動負債は、20億21百万円となり前連結会計年度末に比べ1億80百万円減少しました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が1億3百万円、転貸損失引当金が72百万円減少したことによるものであります。固定負債は、7億25百万円となり前連結会計年度末に比べ1億22百万円減少しました。これは主に、社債が27百万円、長期借入金が70百万円、リース債務が21百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、27億46百万円となり前連結会計年度末に比べ3億2百万円減少しました。

## (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、14億93百万円となり前連結会計年度末に比べ1億18百万円増加しました。これは主に、当期純利益1億17百万円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は35.2%（前連結会計年度末は31.1%）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億38百万円減少し、8億58百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べ1億33百万円増加し、27百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が1億95百万円であったことなどによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べ2億13百万円減少し、52百万円となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入が1億57百万円、有形固定資産の取得による支出が60百万円、原状回復による支出が32百万円あったことなどによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ4億7百万円減少し、2億18百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入が50百万円、長期借入金の返済による支出が2億23百万円あったことなどによるものであります。

## (キャッシュ・フロー指標のトレンド)

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	28.5	31.1	35.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	50.6	55.5	60.4
債務償還年数 (年)	15.9	—	72.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ	2.3	—	0.8

自己資本比率 : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産

債務償還年数 : 有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1. 株式時価総額は、期末株価終値に期末発行済株式総数を乗じて算出しております。

2. インタレスト・カバレッジ・レシオはキャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を同「利息及び保証料の支払額」で除して算出しております。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、経済活動の更なる回復が期待される一方、円安傾向で推移する外国為替相場に加え、中東やウクライナに見られる不安定な国際情勢により、引き続き先行き不透明な状況が続くと懸念されます。

このような状況のもとで、当社グループは、コスト削減を意識しつつ、ウェルネス事業の成長戦略を加速し、業績向上を目指します。

売上高は、フィットネスでスター事業（スターピラティス・スタジオスター）のサテライト出店や保育での認可保育参入、介護での就労支援B型事業所の複数出店による増収で38億円を見込んでおります。利益面では、増収に伴う投資費用が増加するものの、営業利益1億30百万円、経常利益80百万円、親会社株主に帰属する当期純利益10百万円を見込んでおります。

なお、業績予想につきましては、現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主への利益還元を重要な経営課題の一つと位置付けており、適切な利益還元と経営財務の安定性確保の観点から、当期純利益の水準に応じた業績連動型配当の実施を基本方針とし、配当性向10%~50%を目標とすることを基本方針にしております。

当期の期末配当金につきましては、2024年3月25日公表の「剰余金の配当（無配）に関するお知らせ」のとおり無配とさせていただきます。

次期の期末配当金につきましては未定とさせていただきます。今後、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	996,848	858,375
売掛金	140,943	200,314
商品	29,979	99,953
貯蔵品	10,057	9,727
未収還付法人税等	—	15,346
その他	132,492	251,799
貸倒引当金	△466	△800
流動資産合計	1,309,854	1,434,715
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,644,414	3,584,347
減価償却累計額	△2,315,300	△2,355,656
建物及び構築物(純額)	1,329,114	1,228,691
機械装置及び運搬具	200	200
減価償却累計額	△156	△200
機械装置及び運搬具(純額)	44	—
アミューズメント機器	23,752	13,046
減価償却累計額	△23,752	△13,046
アミューズメント機器(純額)	—	—
工具、器具及び備品	224,332	235,631
減価償却累計額	△158,658	△173,544
工具、器具及び備品(純額)	65,674	62,086
土地	1,117,148	1,117,148
リース資産	111,890	98,326
減価償却累計額	△56,646	△64,556
リース資産(純額)	55,243	33,770
有形固定資産合計	2,567,225	2,441,696
無形固定資産		
のれん	13,544	7,524
その他	14,088	12,811
無形固定資産合計	27,632	20,336
投資その他の資産		
投資有価証券	22,388	18,090
長期貸付金	33,473	24,599
差入保証金	428,088	273,054
繰延税金資産	16,058	12,854
その他	17,564	13,898
投資その他の資産合計	517,572	342,497
固定資産合計	3,112,430	2,804,530
繰延資産		
社債発行費	2,070	865
繰延資産合計	2,070	865
資産合計	4,424,355	4,240,111



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	95,399	77,544
短期借入金	1,200,000	1,210,000
1年内償還予定の社債	37,800	27,800
1年内返済予定の長期借入金	329,117	225,903
リース債務	18,468	15,741
未払金	116,371	137,420
未払法人税等	66,475	41,787
前受金	7,400	6,838
賞与引当金	52,506	39,412
株主優待引当金	19,400	20,000
転貸損失引当金	72,439	-
その他	185,690	218,578
流動負債合計	2,201,069	2,021,026
固定負債		
社債	39,000	11,200
長期借入金	603,112	532,909
リース債務	43,140	21,809
繰延税金負債	12,798	13,705
資産除去債務	109,393	106,867
その他	41,163	39,400
固定負債合計	848,608	725,892
負債合計	3,049,677	2,746,918
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,173,662	1,173,662
利益剰余金	97,203	215,144
自己株式	△9,684	△9,684
株主資本合計	1,361,182	1,479,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,494	14,069
その他の包括利益累計額合計	13,494	14,069
純資産合計	1,374,677	1,493,192
負債純資産合計	4,424,355	4,240,111

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	3,774,272	3,735,036
売上原価	272,021	238,034
売上総利益	3,502,250	3,497,002
販売費及び一般管理費		
給料	1,295,586	1,323,501
賞与引当金繰入額	52,506	39,412
退職給付費用	9,035	8,426
株主優待引当金繰入額	19,400	20,000
水道光熱費	213,222	178,379
地代家賃	454,220	435,231
減価償却費	180,199	174,566
その他	1,211,521	1,194,515
販売費及び一般管理費合計	3,435,693	3,374,032
営業利益	66,557	122,969
営業外収益		
受取利息	171	131
受取配当金	541	494
受取保険金	1,771	1,003
権利金収入	1,047	—
受取戻金	724	758
その他	1,791	1,309
営業外収益合計	6,047	3,697
営業外費用		
支払利息	51,097	37,083
社債保証料	525	326
社債発行費償却	1,204	1,204
その他	7,056	5,435
営業外費用合計	59,884	44,050
経常利益	12,720	82,616
特別利益		
固定資産売却益	1,776	—
投資有価証券売却益	—	5,456
補助金収入	30,639	8,843
転貸損失引当金戻入益	—	21,600
資産除去債務戻入益	44,739	—
債務消滅益	1,627	—
災害に伴う受取保険金	—	87,315
特別利益合計	78,782	123,215
特別損失		
固定資産売却損	804	—
固定資産除却損	5,398	1,476
固定資産圧縮損	11,904	—
新型コロナウイルス感染症による損失	3,047	—
貸倒損失	4,814	—
転貸損失	79,834	—
災害による損失	1,230	9,061
転貸損失引当金繰入額	72,439	—
特別損失合計	179,472	10,537

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△87,968	195,294
法人税、住民税及び事業税	112,216	74,694
法人税等調整額	△2,488	2,658
法人税等合計	109,728	77,353
当期純利益又は当期純損失(△)	△197,696	117,941
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△197,696	117,941

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△197,696	117,941
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,273	574
その他の包括利益合計	2,273	574
包括利益	△195,423	118,515
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△195,423	118,515
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	227,101	1,581,362	△239,900	△9,684	1,558,879
当期変動額					
減資	△127,101	127,101			—
資本剰余金から利益剰余金への振替		△534,800	534,800		—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△197,696		△197,696
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	△127,101	△407,699	337,103	—	△197,696
当期末残高	100,000	1,173,662	97,203	△9,684	1,361,182

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	11,221	11,221	1,570,100
当期変動額			
減資			—
資本剰余金から利益剰余金への振替			—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△197,696
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	2,273	2,273	2,273
当期変動額合計	2,273	2,273	△195,423
当期末残高	13,494	13,494	1,374,677

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	1,173,662	97,203	△9,684	1,361,182
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			117,941		117,941
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	117,941	—	117,941
当期末残高	100,000	1,173,662	215,144	△9,684	1,479,123

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	13,494	13,494	1,374,677
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純利益			117,941
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	574	574	574
当期変動額合計	574	574	118,515
当期末残高	14,069	14,069	1,493,192

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△87,968	195,294
減価償却費	198,706	193,040
のれん償却額	16,895	6,019
貸倒損失	4,814	—
災害に伴う受取保険金	—	△87,315
災害による損失	—	1,028
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	72,439	△39,976
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△1,500	600
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△239	334
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,339	△13,094
資産除去債務戻入益	△44,739	—
受取利息及び受取配当金	△712	△625
支払利息及び保証料	51,097	37,083
社債発行費償却	1,204	1,204
固定資産除却損	5,398	1,476
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△5,456
固定資産売却損益(△は益)	△971	—
固定資産圧縮損	11,904	—
債務消滅益	△1,627	—
補助金収入	△30,639	△8,843
売上債権の増減額(△は増加)	899	△59,371
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,709	△69,643
未収消費税等の増減額(△は増加)	42,015	△9,442
その他の資産の増減額(△は増加)	△530	△106,984
仕入債務の増減額(△は減少)	△501	△17,854
未払消費税等の増減額(△は減少)	△64,593	16,989
未払金の増減額(△は減少)	△129,386	22,816
その他の負債の増減額(△は減少)	△6,197	24,190
小計	41,816	81,468
利息及び配当金の受取額	548	499
利息及び保証料の支払額	△50,914	△35,384
災害に伴う受取保険金の受取額	—	87,315
補助金の受取額	30,180	8,656
法人税等の支払額	△134,509	△124,738
法人税等の還付額	7,077	10,009
営業活動によるキャッシュ・フロー	△105,801	27,825
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期貸付金の回収による収入	9,000	9,000
投資有価証券の売却による収入	—	11,780
有形固定資産の取得による支出	△96,080	△60,073
有形固定資産の売却による収入	6,134	—
有形固定資産の売却による支出	△25,097	—
有形固定資産の除却による支出	△950	—
無形固定資産の取得による支出	—	△6,392
差入保証金の差入による支出	△887	△3,982
差入保証金の回収による収入	386,806	157,939
長期前払費用の取得による支出	△2,120	△7,679
原状回復による支出	—	△32,462
資産除去債務の履行による支出	△10,827	△15,555
投資活動によるキャッシュ・フロー	265,977	52,573

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	310,000
短期借入金の返済による支出	△150,000	△300,000
長期借入れによる収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	△381,496	△223,417
社債の償還による支出	△37,800	△37,800
リース債務の返済による支出	△20,930	△17,654
連結子会社の旧株主に対する配当金の支払額	△36,142	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△626,368	△218,871
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△466,192	△138,472
現金及び現金同等物の期首残高	1,463,040	996,848
現金及び現金同等物の期末残高	996,848	858,375



(5) 連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、国内においてフィットネス事業、保育事業、介護事業、オンラインクレーンゲーム事業、不動産賃貸事業を主な事業として営み、所在地別ではなく事業別に事業活動している事業者であります。各事業の特性および重要性の観点から「ウェルネス事業」「クリエイション事業」「不動産賃貸事業」の3つを報告セグメントとしております。

- ・「ウェルネス事業」  
フィットネスクラブ等の運営、企業主導型保育の運営及び介護施設等の運営をしております。
- ・「クリエイション事業」  
オンラインクレーンゲームの運営をしております。
- ・「不動産賃貸事業」  
当社所有の建物ならびに土地の賃貸をしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自2022年4月1日 至2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表計 上額(注) 3
	ウェルネス 事業	クリエイショ ン事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,243,028	142,945	171,288	3,557,261	217,010	3,774,272	—	3,774,272
セグメント間 の内部売上 高又は振替 高	—	—	—	—	155,011	155,011	△155,011	—
計	3,243,028	142,945	171,288	3,557,261	372,021	3,929,283	△155,011	3,774,272
セグメント利 益又は損失 (△)	142,030	△18,428	103,868	227,469	164,096	391,565	△325,008	66,557

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「カウネット事業」「コールセンター事業」等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△325,008千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自2023年4月1日 至2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表計 上額(注) 3
	ウェルネス 事業	クリエイショ ン事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,299,786	75,063	175,137	3,549,988	185,048	3,735,036	—	3,735,036
セグメント間 の内部売上 高又は振替 高	—	—	—	—	229,061	229,061	△229,061	—
計	3,299,786	75,063	175,137	3,549,988	414,109	3,964,097	△229,061	3,735,036
セグメント利 益又は損失 (△)	145,987	△12,606	114,284	247,665	155,942	403,608	△280,638	122,969

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「カウネット事業」「コールセンター事業」等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△280,638千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	153.53円	166.76円
1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額(△)	△22.08円	13.17円

(注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,374,677	1,493,192
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	1,374,677	1,493,192
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	8,954,012	8,954,012

3. 1株当たり当期純利益金額又は1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額又は親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(千円)	△197,696	117,941
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額又は親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(千円)	△197,696	117,941
普通株式の期中平均株式数(株)	8,954,012	8,954,012

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。